



光寿会の第四十七回定期総会

第四十七回(平成二十二年

度)頼成光寿会定期総会が、三

月十日、頼

成いかるぎ

館に於いて

開催され、

議長に武部

由美子さん

を選出した

あと、事業

・予算など

が審議され

ました。

事業・予算ともほぼ前年度と

変わりませんが、今年は三月末

波東

パイパスの開通式が地元で行われるため、光寿会にも協力依頼があり、光寿会としては餅撒き用の俵の作成などで協力することが申し合わされました。広報がお手元に届く頃はずでに終わっておりませんが、頼成にとつて百年に一度あるか無いかの大きな出来事に出会えるのだという前向きな姿勢で協力したいものです。



議事終了後、市の健康センター加納保健師の健康作りに関する講話がありました。そのあと懇親会にうつり、賑やかに話し合ったあと午後二時前解散しました。

平成二十二年 光寿会役員

会長 北條 蘇春

副会長 八田 嵩

庶務 林 喜興志

役員 坂東 国香

西川 原

北川 明

正原 覚

善導

公文名

林 紀子

林 逸子

坂東 国香

会計 武部 幹夫

齋藤美智代

高島 孝子

武部 孝子

林 邦子

林 澄子

林 義孝

林 和子

林 要矩

林 紀子

監事 開田 逸子

御忌法要

恒例の御忌法会が三月十四日、いかるぎ館に於いて催されました。

午前中南桂寺住職の法話、御文の読誦がありました。

午後今年度物故された林泰克様(暢響院 釈法潤)、林定信様(専徳院 釈定入)、八田敏夫様(釈明信)、林實様(釈俊

浄)ら四氏のご遺族を招いての追悼法要と、西慶寺、常称寺両住職の法話が行われました。当番は善導常会でした。

善導常会でした。



橋の渡り初めに繰り出す 住民が手作り

裏方も大変です

三月二十七日行われる砺波野大橋の開通式に向けて地元頼成地区はその記念行事の準備に大わらわですが、光寿会もその一翼を担って、十七日持ち撒き用の俵作りに取り組みました。林甚松さん方の納屋で役員を中心に餅二千五百個を入れる俵十五を作りました。(写真記事は富山新聞提供)。

本当にこれでいいの？

民主党の「子供手当」は、中学生までの子供一人当たりに対して、月額二万六千円を支給することになっています。(ただし、今年度と来年度は半額の一萬三千円) 少子化対策なので、家庭の年収に関係なく子供を持つ全ての家庭に支給すると鳩山さんは明言しておられます。余計なお節介かもしれませんが、マスコミの寵児で知事としての年収二千五百万円、テレビの出演料を入れると億単位の年収になるのではないかと言われている大阪府知事の橋本さんにももちろん支給されます。橋本さんは七人もの子供福者なので、月額十八万二千元、年額にするとなんと二百四十万円余もの子供手当がもらえることとなります。逆に年収五百万円程度で奥さんが専業主婦、中学生以下の子供がいないサラリーマン家庭では、子供手当の恩恵にあずかれないことにはもちろん、子供手当の財源の一部に充てるため配偶者控除を廃止するというところで逆に増税になります。

さらに納得できないのは、子を持つ全ての家庭に支給するとすれば、この頃やたらと目立つ子供を虐待して、挙げ句の果てに餓死させる鬼のような親にも支給することになるのでしょうか。こんな理不尽な手当を支給するより、手当に充てる何兆円という巨額な金を、まっとうな母親が安心して働けるようにするための保育施設などの充実に使う方がよほど生きた使い方になるのではないのでしょうか。今日(二十六日)、民主党が多数で子供手当法案を国会において可決しました。

季節のうた
飛石の彩を浮かせて下萌ゆる
林香月子



